

「あかりの日」第26回全国小学生ポスターコンテスト

428点の応募作品から最優秀賞が決定

最優秀賞作品、優秀賞作品（審査員特別賞含む）、入選作品は
ホームページ及び東京スカイツリー®にて掲示予定

「あかりの日」委員会（委員長：河瀬 靖憲）は、「あかりの日」第26回全国小学生ポスターコンテストにて応募のあった428点の中から、千葉県 アトリエAMI 小学3年 小川 凜（おがわ りん）さんの作品を最優秀賞として選出いたしました。それに伴い、10月17日（土）に東京スカイツリーにて表彰式を行うほか、優秀賞10点（審査員特別賞1点含む）、入選作品30点を含む入賞作品を、「あかりの日」ホームページ及び東京スカイツリー5F 出口フロア エレベーター前にて展示いたします。



（最優秀作品と優秀作品10点）

当委員会では、毎年10月21日を「あかりの日」と定め、照明のもつ意義をあらためてご確認いただくとともに、正しい照明知識の普及と啓発推進の一環として「あかりの日」全国小学生ポスターコンテストを開催してきました。

今年度は、全国から428点の応募をいただき多数の優れた応募作品の中から、千葉県 アトリエAMI 小学3年 小川 凜（おがわ りん）さんの作品を最優秀賞として選びました。その他、優秀賞10点（審査員特別賞1点含む）、入選作品30点を選出いたしました。（入賞者一覧、最優秀賞・優秀賞写真一覧/別紙参照）

〈山崎宣由 審査委員長総評〉

今回もたくさんの力作が集まりました。「これからのあかり、夢のあかり」という応募テーマを個性豊かに解釈し、柔軟な発想と溢れるアイデアに圧倒された審査となりました。特に今年は、「はっきり」とした強い色調の作品が多かったのも印象的でした。多彩に色を使い、試し、様々な色の組み合わせにチャレンジして、カラフルで存在感のある作品が私たち審査委員の感情を高揚させてくれました。白い紙に線や色を積極的に使って描くということはとても勇気のいることです。ましてや、自分の空想や妄想を描いて人に見せるというのなら、それを恥ずかしく感じる大人も多いはずです。絵が描けないというよりも「恥ずかしい」という気持ちが絵を描く邪魔をするのです。子供達が絵を描く事、色を使うという事は、本能からくる強い感情表現であり、発想は、夢であり、希望であり、ファンタジーであり、勇気でもあります。それを伝えてくれた子供達の思いを、我々大人はしっかりと受け止めたいと思います。見れば見るほど、自由で想像性に富んだ、気づきの多い素晴らしい作品ばかりでした。

また今回の表彰に伴い、最優秀賞及び審査員特別賞受賞者をお招きして表彰式を執り行います。その他優秀賞、入選を含む入賞作品41点は、「あかりの日」ホームページ及び東京スカイツリー5F 出口フロア エレベーター前に展示します。

〈入賞作品発表〉

第26回「あかりの日」全国小学生ポスターコンテストの最優秀賞1点、優秀賞10点(内1点：審査員特別賞)、入選30点の各作品を次のホームページ上に掲載すると共に、東京スカイツリー5F 出口フロア エレベーター前に掲示いたします。

- 「あかりの日」ホームページ <https://akarinohi.jp/> 掲載開始 10月1日（木）より
- 東京スカイツリー5F 出口フロア エレベーター前に掲示
東京都墨田区押上1-1-2
掲示期間:10月1日（木）～10月30日（金）9：00～21：00

【主催】

「あかりの日」委員会 （一社）日本照明工業会 （一社）日本電気協会 （一社）照明学会

【協力】

東武タワースカイツリー株式会社